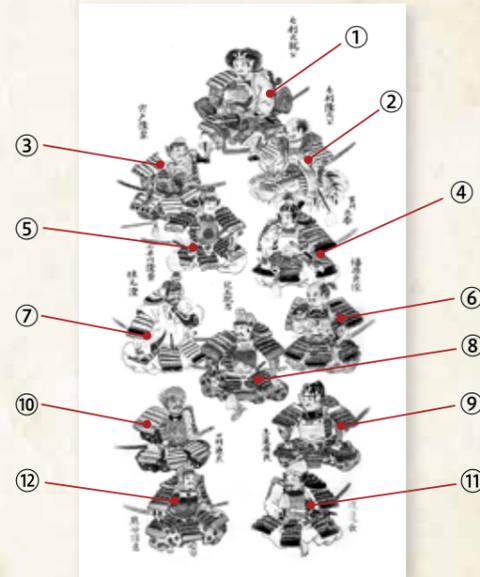


歴史紀行

シリーズ
「博物館コレクション」第18回



安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 吉藤 妃花梨



- ① 毛利 元就
- ② 毛利 隆元(長男)
- ③ 毛利 隆元(次男)
- ④ 吉川 元春
- ⑤ 福原 貞俊
- ⑥ 児玉 就忠
- ⑦ 志道 広良
- ⑧ 渡辺 長
- ⑨ 渡辺 長
- ⑩ 渡辺 長
- ⑪ 渡辺 長
- ⑫ 渡辺 長

御座備図(江戸時代 絹本彩色)
縦99.3cm×横42.7cm
(歴史民俗博物館所蔵)

毛利元就没後450年記念

ごぞぞなえず 御座備図



今回は、現在歴史民俗博物館で開催中の特別展「毛利元就」で公開中の御座備図を紹介します。

御座備図
座備とは座る順番という意味で、御座備図は、大將を中心として、出陣前に甲冑姿に身をかけた一門・重臣たちが、家の格式順に並ぶ姿を描いた図です。

徳川氏や武田氏の図が知られていますが、毛利氏の御座備図は、江戸時代に毛利氏や家臣の各家で数多く制作され、正月や端午の節句などの吉祥日(陰陽道で何事を行うのにも吉とされる日)に先祖の武勲をしのぶために、床の間に飾られるようになったようです。

毛利元就の御座備図

首座の毛利元就从ら格式順に甲冑姿で着座する図で、元就以下隆元、宍戸隆家、吉川元春、小早川隆景と続き、そのほか古参の家臣など総勢12人が描かれています。

毛利氏の御座備図はいくつかの種類が現存していますが、家臣の相違や席順の異動などがあることから、必ずしも戦国時代の席順を表しているとは言い難く、慎重な検討が必要です。

11/20(土)

シンポジウム 毛利元就

史料から語る毛利元就の横顔

入場無料・申込不要

〈開会〉13時(開場・12時)〜16時閉会予定
〈場所〉クリスタルアーシヨ大ホール

毛利氏研究で著名なパネリストが「人間」元就の知られざる側面に迫るシンポジウム

【パネリスト】

- 秋山伸隆氏(県立広島大学名誉教授)
- 柴原直樹氏(毛利博物館館長)
- 木村信幸氏(広島県立歴史博物館学芸課長)
- 和田秀作氏(山口県文書館専門研究員)

開催中

毛利元就

「名将」の横顔

10/23(土)〜12/5(日)

特別展展示解説

会期中毎週日曜日 11時〜

※申込不要・要入館券

展示の日程・内容等は変更する場合があります。

歴史民俗博物館 TEL:42-0070

住所: 吉田町吉田278-1

[開館時間] 9時〜17時 [休館日] 月曜日・11/4(木)・24(水)

[入館料] 大人500円(400円)小中学生250円(200円) ※ () 20人以上の団体

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としているコミュニティ助成事業を活用し、実施します。



問い合わせ



毛利元就没後450年記念イベント

毛利元就郡山城入城500年記念事業サイト
<https://motonari500th.jp/>

11/21(日)

毛利元就 タイムスリップの旅



秋の陣
甲冑を身にまとい、毛利元就ゆかりの史跡を巡ります。

郡山城デジタル ガイドマップ 公開イベント

航空レーザ測量により新たに製作した郡山城の3Dデジタルマップを、ガイドと現地を歩きながら体験できます

安芸高田市観光協会
(三矢の訓連携協議会・郡山城史跡ガイド協会)
TEL:47-2550

広告

稲田幸久

少年騎馬遊撃隊

元安芸高田市職員

勝つのは無垢なる魂か、それとも復讐の刃か？

吉川元春に拾われ、馬術を見出された少年小六。尼子再興を願う猛将・山中幸盛(鹿之助)とともに戦火で愛する人を失った二人の譲れぬ思いが、戦場でぶつかる――!

発行所/株式会社角川春樹事務所
定価 1,980円(税込)

元安芸高田市職員/稲田幸久(甲田町)

安芸高田市の皆さんに育てていただいたと感じています。本当にありがとうございました。安芸高田市の皆さんのおかげで書けた小説です。ぜひ読んでみてください!!

第13回角川春樹小説賞受賞作

選考委員満場一致の感動歴史エンターテインメント! 鮮烈なデビュー作!

絶賛発売中

推薦人 吉川 晃司
これで、北方謙三か? 心おきなく筆をおけるか?

選考委員 角川 春樹
北方謙三の小説を連想させる。将来性を大きく感じた。

選考委員 今野 敏
すでに新人が現れた。矢張り早に名シーンがあつて、もう参りました。

選考委員 北方 謙三
小説として一番大切な心にと響くような部分を書いてある。

著者略歴
安芸高田市職員として採用後、広報担当者として安芸高田市の元にかが、その思いを『広報あきたかた』の記事にする仕事を行う。異動により、教育総務課で教育のICT化、政策企画課で公共交通等を担当した後、退職。フリーランスとして働く傍ら執筆を行い、毛利と尼子の争闘を描いた『風雲月路(刊行時タイトル: 駆ける 少年騎馬遊撃隊)』で第13回角川春樹小説賞を受賞。小説家としてデビューする。